

ライティング・センターの継続的な利用の効果に関する一考察

中竹真依子・小林至道（青山学院大学アカデミックライティングセンター）

渡辺司・重久理奈・野村瑤子・眞崎光司（青山学院大学大学院）

■プログラム掲載用の要約

本研究の目的は、ライティング・センターの継続的な利用を通して、学生のライティング・センターの利用の仕方や動機、ライティング力にどのような変化が見られるかについて考察することである。本研究では、2018年度においてライティング・センターを継続的に利用した学生3名に焦点を当て、学生の予約時の情報、チューターがチュートリアル後に記録する支援履歴、年2回学期末に行ったインタビュー調査の結果を分析した。本発表では、本調査の結果をもとに、ライティング・センターの継続的な利用がもたらす効果についても議論する。

■発表要旨

本研究の目的は、ライティング・センターの継続的な利用を通して、学生のライティング・センターの利用の仕方や動機、ライティング力にどのような変化が見られるかについて考察することである。本研究では、2018年度においてライティング・センターを継続的に利用した学生3名に焦点を当て、学生の予約時の情報、チューターがチュートリアル後に記録する支援履歴、年2回学期末に行ったインタビュー調査の結果を分析した。分析の結果、ライティング・センターの継続的な利用を通して、学生は自分の文章の癖や問題点がわかるようになり、それを踏まえ自覚的な目的を持った上で利用するようになっていたことがわかった。また、当初は成績や評価を上げるためにライティング・センターを利用していたが、利用を重ねるごとにライティング力の向上を実感し、さらなるライティング力の向上や卒業論文などの今後の文章作成を見据えて利用するようになった学生も見られた。さらに、ライティングの課題に取り組んでいる過程でライティング・センターを利用するタイミングが早くなった、1つの課題で何度もライティング・センターを利用するようになったという変化も見られた。ライティング・センターの継続的な利用を通して学生が実感しているライティング力の変化としては、ライティングの基本がしっかり身についた、一貫性のある読みやすい文章が書けるようになった、読み手を意識した客観的な文章が書けるようになった、推敲のコツがわかるようになった、書くスピードが速くなった、書くことが楽しくなってきた・楽になってきた、などがあげられた。今後は、ライティング・センターの継続的な利用を通して、学生の書く文章自体にどのような変化が見られたかについて分析を進めていきたい。